

## (財)川崎市国際交流協会の講師紹介

国際理解講座

しん にん こく さい こう りゅう いん べんじやみん  
**新任国際交流員のベンジャミンです。**

ベンジャミン・ブラウン氏(川崎市総務局国際施策調整室・国際交流員 2011.7月～)

皆様、初めまして。オーストラリア・シドニー出身のベンジャミン・ブラウンです。

私は、「JETプログラム」という、政府の「外国青年招致事業」(日本の外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを目的)で来ています。大学で専攻した日本語と国際政治を生かしたかったのと、私にとって日本が「第二の故郷」でもあるので、大学入学当時から希望していました。

私の母は日本人、父はオーストラリア人で、子どもの頃から英語と日本語が飛び交った家で育ったため、日本との繋がりはずっと感じてきました。

今回、長期的に日本に滞在し、出会う機会がなかった人々と親睦を深めたり、初めての仕事や遊びを経験する中で、今までは気づくことがなかったこの国の美しさや文化の違いなどによる難しさに直面しながら、日本人として、また川崎市民としての誇り(プライド)を感じる毎日です。

2012(平成24)年度前期には、「英語による国際理解講座」で講義を担当することになっていますので、是非ご参加ください。多くの市民の方と交流できることを楽しみにしています。



たぶんかこうざん  
 多文化交差点⑨  
 [キッス編]

## おめでとう!特別賞受賞・入選の皆さん ~第16回カナガワビエンナーレ国際児童画展川崎巡回展~



「やさいのくに」内海響(6才)

神奈川県では、絵画を通じて明日の世界を担う児童の夢と創造力を育み、お互いの生活や多様な文化を理解するため、世界各地から子どもたちの絵画を募集して、「カナガワビエンナーレ国際児童画展」を2年に一度、開催しています(「ビエンナーレ」とはイタリア語で2年に一度という意味です)。今回は応募総数22,443点の中から入賞519点が選ばれ、そこから大賞3点・特別賞58点が絞られました。

川崎巡回展は、川崎市国際交流センターで開催されましたが、笑顔の親子連れがさまざまな国からの作品を鑑賞している姿が印象的でした。色使いや題材にはお国柄がでますし、何より本物を見て、心で感じるということの大切さを実感しました。

そして、川崎市からは、内海響さん(6才)が独立行政法人国際協力機構理事長賞を、星野優里子さん(6才)が財団法人日本国際連合協会会長賞を受賞し、その他10名の皆さんが入選しました。受賞がすべてではないですが、素晴らしいですね。おめでとうございます。

このような展覧会をめざしてガンバっている子どもたちを、応援できる私たちでありたいと感じました。

(文:編集ボランティア・青柳尚子)



「たなばたさま」星野優里子(6才)

川崎巡回展

平成23年11月18日~24日  
 来場者数:824名

アンケートより

- 外国の子どもたちの絵をみていると、どんな国だろうとワクワクする。行ってみたい気もする。
- いろいろな国の事情が絵から飛び出してくるような気がした。平和について考えた。
- 力作ぞろい、色彩の美しさ、デッサン力、観察力、お国柄もでていて関心させられました。今ある幸せを実感。また、明るい未来も予感させられ嬉しい気持ちになった。
- 子どもが興味を持っていろいろな絵を見ていて、私も国独特の絵や画材をとて楽しむことができた。